学童連絡事項(全チーム)

- ○大会前にIPを必ず確認して準備されて下さい。※19 (土)は女子初日、20 (日)は男子初日。 https://kumamoto-basketball.jp/archives/5866
- ○筆記具とチームプレートは各チームで準備。
- ○開場時刻は会場ごとに異なります(スタート時刻も)
- ○会場ホストチームの指示、連絡をよく聞いて行動されて下さい。
- ○各地区役員から意図的なゾーン等で名前があがってるチームがあれば、初日、2
- 日目にかかわらず、担当役員が視察に入る場合もあります
- ○【帯同審判】は19(土).20(日).21(月祝日)です。
- ○試合時間は【5-1-5(5)5-1-5】 試合間は必ず10分あける。 (今大会は3ポイントを導入) ※27日最終日のみ【6-1-6(5)6-1-6】
- ○勝敗は必ず決します。(延長は2分あけて3分の延長戦ファール継続。決するまで) (同点は必ず延長)
- ○男女初日同率が生じた場合
 - ・三角で同率が3チーム→フリースロー (5人の合計) (四角で4チーム同率もフリースロー)
 - ・四角で対角が2勝が2チーム→5分×2Qの※決定戦
 - ※3・4クォーターと考え、個人ファールは2回している状態(3回目から)とする。 (ジャンプボールスタート、後半扱いなので相手ベンチ側が攻撃向きでトスアップ)
- ○エントリー規定による不成立でも試合はおこないます。(4人しか揃わない場合、試合は行いません)※(ただし、その試合は人数により、試合時間を短く、クォーター数を減らす場合があります)
- ○指導者はライセンス証をストラップにいれ着用してください。
- デジタルは認めない(必ずプリントアウト(紙媒体)しストラップにいれて着用)
- ※忘れた場合はベンチに座ることはみとめるが、立つこと、指示をすることは認めない。
- ○バルーンやメガホンの応援は認めます、音の大きさに気をつけて下さい。
- (ラッパや太鼓、笛などの楽器は認めません)ベンチはバルーンやメガホンは認めない ※落下物は絶対にあってはなりません。バルーン、メガホンの落下物があった場合、以後 大会途中でも使用は禁止とする)
- ○フリースロー時の妨害行為は認めません。
 - ※ライブ時応援の足踏みも禁止 (観客席も妨害行為は禁止。)
- ○音量機器を用いたアップは、他のチームが不快に感じない音の大きさであること。 (アップしている他のチームに必ず確認されてからスイッチを入れて下さい)
- ○健全なバスケット環境を目指して(HP)を必ずお読み下さい。
- ○ライブ配信、SNS等に関する注意事項は要項の通りです。
- ○駐車場台数は会場により異なりますので、注意されて下さい。 ※駐車券について、HPに有、必要に応じてご活用下さい。(オリジナル作成も可)
- ○責任をもって小さいお子さまから、目を離さないで下さい。 1 人にさせない。
- ○チームドクターは、自チームのベンチ横に待機、選手への指示は禁止です ただし、負傷者の救護に対する声かけなら大丈夫です ※チームドクターもストラップを首から下げて下さい
- ◆インティグリティ精神に則り活動します。 【誠実、真摯、高潔】
- ・メンバー、スタッフ変更は、男女それぞれ初戦試合の1時間前までに会場主任へ。
- ・会場に到着した監督者は、本部席へいき、ライセンス証を会場主任へ提示します、メ ンバー表に変更があれば、この時に提出。変更なければ監督者自ら変更なしと会場主任 へ報告する。(会場主任の負担を軽減)
- ※スタッフ、メンバーに変更があるのに変更メンバー表を提出しなかった場合、試合は 行うが不成立とします。 (試合後に提出も同様に不成立)
- ○オフィシャル裏には必ずオフィシャル理解者を1名配備されて下さい。
- ○大会参加基準に沿って参加または、辞退を判断されて下さい。



8 人以上による試合成立と交代について

■通知内容

試合成立のプレーヤー数の変更

- ・登録された競技者が10名未満のチームに対して、8名による試合成立を認める。
- ・但し、登録数が10名を超えるチームに対しては、これまで通りの規程を適用する。
- ・2019年4月1日から実施とする。

■導入の背景

これまで、ゲームにより多くのプレーヤーが出場できることを目的として、1 試合に 10 人以上のプレーヤーが出場すること を規則としてきました。しかし、近年では少子化や児童数の減少などにより、地域で 10 人以上のプレーヤーを集めることが できないチームも見られるようになってきました。

このため、これまでも一部の大会等では、普及を目的としてプレーヤーが 10 人未満のチームでも出場できるように配慮されてきましたが、改めて競技規則においても、8 人以上による試合成立を認めることとしました。

このルールは少子化などの理由でどうしても 10 人以上のプレーヤーを集めることができないチームを救済することを目的としており、強化的な考え方のもとに、意図的に 10 人未満の競技者登録を行うことは、普及の考え方に反するものです。

■実施時期と変更内容について

(1) 実施時期

・8 人以上による試合成立は、2019 年度より、すべての大会で適用する。

(2) 出場と交代に関するミニバスケットボール競技規則の新旧対照表

旧)ミニバスケットボール競技規則

第 23 条 出場と交代	第 23 条 出場と交代
	【出場について】
各チームのプレイヤーのうち 10 人以上は、少なくとも 1	登録競技者が 10 人以上のチームは、 各チームのプレ
クォーター(6 分間)はゲームに出場しなければならない。	ーヤーのうち10人以上は、少なくとも1クォーター(6分間)
(以下、交代に関する記述は下に移動)	はゲームに出場しなければならない。
また、第 3 クォーターまでに 10 人以上のプレイヤーが少	また、第 3 クォーターまでに 10 人以上のプレーヤーが少
なくとも 1 クォーター以上、2 クォーターをこえない時間だけ	なくとも 1 クォーター以上、2 クォーターをこえない時間だけ
はゲームに出場していなければならない。	はゲームに出場していなければならない。
	登録競技者が 10 人以上のチームは、10 人未満で
	大会にエントリーすることはできない。
	登録競技者数が大会エントリー数の上限を超えるチ
	-ムは、大会エントリー数の上限に満たない人数のプレ
	<u>ーヤーで大会にエントリーすることはできない。</u>
	10 人以上で大会エントリーしたチームが、大会当日
	に 10 人未満のプレーヤーしか試合に出場できなかった

新)ミニバスケットボール競技規則



やむをえずクォーターの途中で交代があった場合、それまで出場していたプレイヤーも交代して出場したプレイヤーも その 1 クォーターを出場したものとみなされる。

第 1 クォーターから第 3 クォーターまでの間は、クォーター・タイムとハーフ・タイムのときのみ交代することができる。

第 4 クォーターと延長時限にタイム・アウトがあったときに はどちらのチームもプレイヤーを交代させることができる。

ただし、フリースローの前にタイム・アウトがあったとき、特例として最後のフリースローが成功した場合のみ、シューターの交代を認める。

場合、試合は不成立とする。

登録競技者が 8 人以上 10 人未満のチームは、第 3 クォーターまでに全てのプレーヤーが少なくとも 1 クォーター(6分間)はゲームに出場しなければならない。その際、プレーヤーは第 3 クォーターまでに続けて 3 クォーター出場してはならない。

やむをえずクォーターの途中で交代があった場合、それまで出場していたプレーヤーも交代して出場したプレーヤーも その 1 クォーターを出場したものとみなされる。

8 人または 9 人で大会エントリーしたチームが、大会 当日にエントリー数に満たない人数のプレーヤーしか試 合に出場できなかった場合、試合は不成立とする。

【交代について】

第 1 クォーターから第 3 クォーターまでの間は、**プレーの インターバル**とハーフタイムのときのみ交代することができる。

第 4 クォーターと延長時限では、次のときにどちらのチームもプレイヤーを交代させることができる。

- ・タイムアウトがあったとき
- ・審判が笛を吹いてゲームクロックが止まったとき
- ・ファウルの後は審判がテーブルオフィシャルに伝達を終え たとき
- ・最後のフリースローが成功したとき

(3) 補足

- ① 自チームのプレーヤーが 10 人以上いる場合は、対戦相手のチームのプレーヤーが 10 人未満であっても、これまで 通り 10 人ルールが適用されます。
- ②「登録競技者」とは、チームが当該年度において(公財)日本バスケットボール協会に登録している競技者を指します。大会に登録(エントリー)したプレーヤーではありません。
- ③ プレーヤーの出場時間をコントロールするため、交代は第4クォーターと延長時限に限ります。
- ④ 多くのプレーヤーが出場できることを目的に、タイムアウト以外での交代も認めます。
- ⑤ 交代は、交代するプレーヤーが自分でスコアラーに申し出てください。